



沼中だより

〒059-1301
東開町6丁目1番2号
TEL 55-0340
FAX 55-0341

【学校教育目標】 高い知性・豊かな心情・強い身体

学校 HP
はこちら
から⇒



校長 熊谷 誠

令和7年度がスタートしました。4月8日（火）には着任式と始業式、9日（水）には入学式を行いました。入学式では、新入生49名一人一人の氏名を学級担任が呼名し、胸を張って立派に返事をしました。前日の会場準備や終了後の後片付けでは、先輩である第2・第3学年の生徒が力を貸してくれました。

第2学年は50名、第3学年は66名で全校生徒165名でのスタートです。

生徒一人一人が健やかな成長を遂げ、充実した学校生活を送ることができるよう、教職員一丸となって、全力で指導に当たって参りますので、令和7年度もご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

始業式と入学式で私は生徒に2つのお願いと、意識して学校生活を送ってほしいことを3つ伝えました。

2つのお願いの1つ目は、気持ちのよい挨拶が響き合う学校です。廊下で先生方やお客様に会うと、気持ちのよい挨拶をする生徒が多いのが、沼中のよさです。新1年生も、こうした沼中のよき雰囲気を大切にしてほしいと伝えました。

2つ目のお願いは、合唱を大切にしてほしいということです。沼中では、伝統的に合唱に力を入れてきた学校です。心を合わせ、素敵な声を響かせてほしいと願っています。

意識して学校生活を送ってほしいことは、昨年から生徒には伝えていますが、1つは「多様性を認め合うこと」です。人はそれぞれ容姿も性格や考え方も、趣味や嗜好も家庭環境も違う。障がいのある人もいますし、これからは外国籍の人との関わりも増えてきます。そうした一人一人の違いを尊重し、認め合う学校にしてほしいと伝えました。多様性を認め合うことができれば、いじめやトラブルは少なくなるはずです。

2つ目は「自己を見つめ自律心をもってほしいこと」です。自らの行動や考えを自分で律し、正しい方向に向かうことが大切であることを伝えました。

3つ目は、「一人で抱え込まないこと」です。心身発達途上の中学生ですから、人間関係や学業、部活などでの悩みや不安が誰しもあるものです。人には打ち明けにくい悩みを抱えているかもしれません。一人で抱え込まずに、誰かを頼ってほしい。先生方は必ず力になるということを伝えました。その真意は、近年、全国的に子どもの自殺が増えているという背景にあります。自分の命も人の命も大切なもの、かけがえのない命を大切にしてほしいという強い思いです。どうか、お子さんの気になる様子がありましたら、学校に相談してください。学校では、各教員が高くアンテナを張って、様子のおかしい生徒がいないか常に気にしています。ご家庭でもお子さんの少しの変化に気付くことができるよう見守ってほしいです。

本年度も、教職員全員が一丸となって、保護者の皆様と連携し、生徒一人一人の成長を全力で支えて参りますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。